

**東日本大震災に対する
防衛省・自衛隊の活動状況
（救援物資輸送関連）**

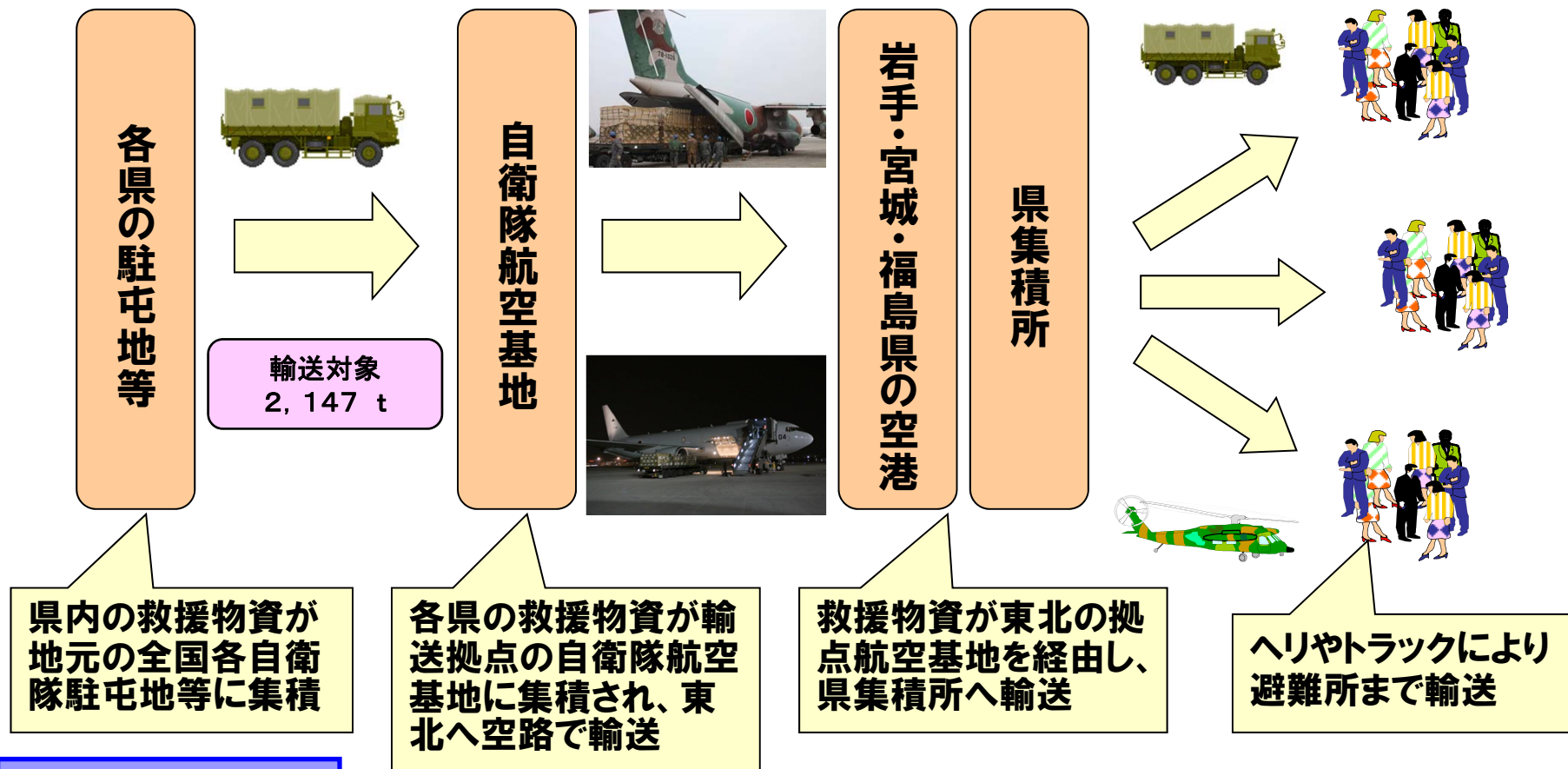
**平成 23 年 9 月
防 衛 省**

救援物資輸送スキームの概要(1/2)

区 分	概 要
救援物資等の提供者	○ 地方公共団体、民間企業を対象 ○ 原則として個人は除外
輸送対象救援物資	食料(生もの及び賞味期限の短いものを除く。)、水、各種生活用品
救援物資の持ち込み先	○ 都道府県毎、駐屯地等1カ所(基準)を指定 ○ 大型又は大量の場合等、幹線輸送の輸送拠点への直接持ち込み可 (ただし、ガスボンベなど輸送ができない物資があるため、詳細については、適宜都道府県と調整)
救援物資の輸送要領	○ 救援物資等の提供希望者が所在都道府県にその旨を連絡、都道府県は、救援物資を自衛隊の指定した日時に駐屯地等に持ち込み ○ 都道府県より輸送先の指定がある場合、当該県に輸送 ○ 指定がない場合、東北方面総監部において、県対策本部と調整し輸送
輸送ネットワーク	○ 航空幹線輸送 主要な航空自衛隊基地、海上自衛隊航空基地及び民間空港 輸送手段:空自航空機、海自航空機 ○ 被災地での輸送 陸自及び空自が担当、なお被災地における輸送の接続の円滑化のため、東北方面総監部内において輸送調整等を実施

救援物資輸送スキームの概要(2/2)

- 民生支援のため、生活物資の輸送の基本的なスキームを構築
- 全国の自衛隊駐屯地などに物資を集積し、自衛隊が避難所まで輸送



課題

短期間での構築のため、部隊等や自治体への周知が十分でなく、一部に混乱が生じた。

救援物資の集積状況

①自衛隊航空基地 (格納庫等)



- 管理: 自衛隊
- 格納庫や倉庫を活用
- 物資の出入量を管理し、調整に基づき払い出し

②県集積所 (市内倉庫等)



- 管理: 県
- 市内の輸送会社の倉庫等を活用

③市集積所 (総合運動公園等)



- 管理: 市
- 総合運動公園等に設営した自衛隊の整備用天幕を活用

課 題

- 自衛隊の輸送能力や被災地自治体側の受入能力による制約、被災地のニーズの変化等により、救援物資が被災地内外の倉庫等に一時的に滞留する状況が発生
- 被災の影響により、自治体によるニーズの把握が困難な場合の対応
 - ※届けるべき物資の種類・量(目標)と届けた物資の種類・量(達成度)が把握できない状況が発生

救援物資の滞留に伴う自衛隊の支援状況

県集積所等に滞留する救援物資の有効活用のため、自衛隊は以下の支援を実施。

① 救援物資仕分け作業

集積されている混載物資について、種類別、サイズ別に区分し、同一サイズの箱に梱包後、パレタイズ化を実施。**70%の容積減により、スムーズな運搬、被災者のニーズに的確に対応。**

※婦人服等の仕分けは、女性自衛官が実施

② 救援物資カタログ作成

写真を添付したカタログを作成、県を通じて避難所等に提供。（宮城県集積所8ヶ所、カタログ掲載約350品目）



品目表	
物資コード	4-1-1-009
倉庫コード	0022
種類	ウィンドブレーカー
年齢別	大人 子供 共通
男女別	男性 女性 共通
サイズ	M
新・古	新品 古品
生産国	中国
備考 (写真等)	
	
(上)	



女性服を担当するWAC



パレタイズ化



③ 救援物資配布会支援

自治体を実施する支援物資配布会の物資運搬・会場設営等を支援。



実施場所：宮城県石巻市等3ヶ所

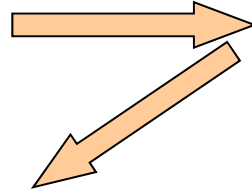
配布物資：衣類、履物、子供用品、介護用品、菓子類、飲料、化粧品等

救援物資の現地ニーズの把握例

霞目駐屯地(仙台)で集めた数種類の救援物資を積載し、被災地に直接出向いて、被災者のニーズに応じた物資を提供



①糧食等の生活に
最低限必要な救援
物資を優先して積載



③在庫がある物は、お
渡しします。
(ニーズを把握して、
救援物資を準備)



②必要な(不足している)物
は？ 在庫があれば、後日
お届けします！



④離陸する際、ちょっと
遠くから恥ずかしそうに、
敬礼してくれました。

女性特有の要望が多かったことから、女性に対する聞き取り調査及び物品を渡す担当として女性自衛官を活用



東北方面航空隊唯一の女性パイロット
柳内 1 尉による「御用聞き」



大切な物資。しっかりと届けます。



取材を受ける、高橋士長(管気隊)と内
海士長(ヘリ隊)